

## 1 背景

- ①山形県行財政改革推進プラン2021  
・行政手続等のオンライン化の推進
- ②Yamagata幸せデジタル化構想  
・公金収納のキャッシュレス化拡大

国内における  
キャッシュレス決済の普及

行政手続のオンライン化  
×  
公金収納のキャッシュレス化

## 2 現状と課題

### 【現状の公金収納方法】

	手続場所	支払場所/決済手段
納入通知書	金融機関	同左/現金
現金	行政窓口	同左/現金
県証紙	行政窓口	県証紙売りさばき所/現金

### 【課題】

#### 県民の利便性の向上

- ☞ 金融機関窓口以外での支払方法の提供
- ☞ 現金に代わる多様な支払方法の提供
- ☞ 県証紙売りさばき所以外での支払方法の提供

## 3 目的

県の公金収納(税外)に関し、デジタル技術等を積極的に活用して

- ◆県民の利便性の向上
- ◆県の業務効率化

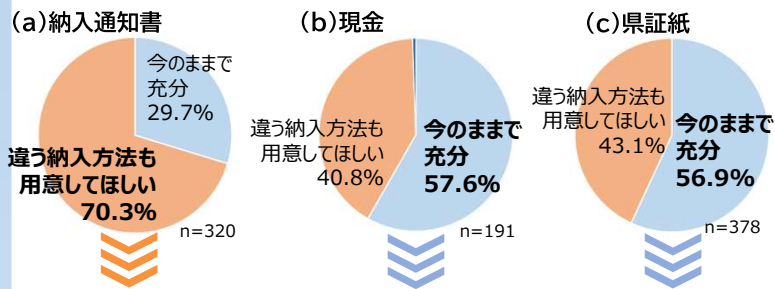
を図っていくための施策の方向性を定める

いつでも・どこでも×多様な手段で支払える

県の業務を効率化

## 4 現行の収納方法に対するご意見

(出典：多様な公金収納の実現に関するアンケート調査 (R5.7 山形県会計局))



金融機関窓口以外での納入を望む声が多い

- ☞ コンビニ決済
- ☞ スマホ等決済 (ネットバンク・クレジットカード等)

- 現行の納入方法には過半数の支持
- プラスアルファとしての納入方法の要望
  - ネット上での電子決済
  - 行政窓口での各種決済
  - コンビニでの現金決済

## 5 収納方法別の対応方針

いつでも・どこでも×多様な手段で支払える

県の業務を効率化

⇒財務会計システムとの連携

	(a) 納入通知書	(b) 現金	(c) 県証紙
金融機関窓口以外での納入を望む声が多い	eLTAX収納に対応が必要	現行の納入方法には過半数の支持	プラスアルファとしての納入方法の要望
全庁が対象、優先して対応していく	新たな納入方法の検討	関係所属との調整を進め、順次DXしていく	
現行	金融機関窓口での現金納入	行政機関窓口での現金納入	売りさばき所で県証紙を現金で購入して申請書類に貼付し、行政機関窓口で申請
これから	金融機関窓口での現金納入のほか… ①コンビニでの現金納入 ②スマホ・PC等でのキャッシュレス納入 の全庁的な早期実現を図る いつでも・どこでも 多様な手段で	行政機関窓口での現金納入のほか… キャッシュレス納入を可能とする対象窓口を整理※し、導入 多様な手段で ※キャッシュレス決済端末の導入・運用コスト等を考慮し、導入窓口を今後選定	当面は県証紙制度を運用しながら、より一層利便性の向上に取り組んでいく※ ①電子申請+電子納付を導入 ②利便性と効率性の高い納入方法を検討し、導入 (他県では・・・専用納付書でのコンビニ現金納付等) いつでも・どこでも 多様な手段で ※①・②の導入後、その普及・活用状況を踏まえながら、県証紙の廃止を検討していく
	DX	DX	DX
	多様な収納と財務会計システムを連携させることにより、会計事務の効率化を図る		

## 6 公金収納DX 工程イメージ

段階的かつ 着実に DXを推進

収納手段	5年度	6年度	7年度以降～
(a) 納入通知書での収納	対象歳入の精査	財務会計システム改修	コンビニ対応バーコードを活用した収納実施(コンビニ、スマホアプリ等) 財務会計システム改修 eLTAXを活用した収納実施(Webサイト等)
(b) 窓口での現金収納	キャッシュレス端末導入対象窓口の精査	キャッシュレス端末導入 財務会計システム改修	対象窓口でのキャッシュレス収納実施
(c) 県証紙での収納	(従前どおり)	当面は県証紙での収納を運用 → 電子申請+電子納付や新たな納付方法の普及状況等を踏まえながら、県証紙の廃止を検討していく	
電子申請+電子納付	電子申請 対象手続順次拡大	手数料電子納付対象手続選定	手数料電子納付機追加 財務会計システム改修 電子申請+手数料電子収納実施
手数料の新たな納付方法	先行県/関係所属/売りさばき所聞き取り調査・分析	新たな納入方法の検討	関係所属との調整 財務会計システム改修 新たな方法での手数料収納実施
		新たな行財政改革推進プラン策定	R7～ 新たな行財政改革推進プランに基づき 電子申請・電子納付を推進
			手続・手数料収納の実態によっては納入通知書等での収納への移行も検討